



MESSAGE NOTES

導きー心配から信頼へ

マタイの福音書 6:25-34, 7:12

ロイド フラハティ

1. 心配しないー父を信頼する

導き: ガイドを信頼するところから始まる

マタイの福音書 6:25 – ですから、わたしはあなたがたに言います。何を食べようか何を飲もうかと、自分のいのちのことで心配したり、何を着ようかと、自分のからだのことで心配したりするのはやめなさい。いのちは食べ物以上のもの、からだは着る物以上のものではありません。26 空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。それでも、あなたがたの天の父は養っていてくださいます。あなたがたはその鳥よりも、ずっと価値があるではありませんか。

イエス様は、心配は役に立たないと言われます。

マタイの福音書 6:27 「あなたがたのうちだれが、心配したからといって、少しでも自分のいのちを延ばすことができるでしょうか。」

2. 神の国と神の義を求める

イエス様は、まず神の国を求めなさいと言われます。

マタイの福音書 6:33 「まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。」

神はあなたに何を与えてくださるでしょうか。マタイの福音書では、イエス様は天の父が「これらのすべて」を与えるとされ、ルカの福音書では、イエス様は天の父が「聖霊」を与えるとされました。

3. 神様が私たちにしてくださるように、他の人を扱う

導きとは、単に選択をすることだけではありません。導きとは、あなたが主に従う中で形作られるあなたの性格そのものです。

マタイの福音書 7:12 ですから、人からしてもらいたいことは何でも、あなたがたも同じように人にしなさい。これが律法と預言者です。

まとめ: 心配から信頼へ

導きとは単に「正しい道」を見つけることではありません。それは天の父を信頼する者となることです。心配するのをやめ、本当に必要なものを神に委ね、神様が私たちに示すのと同じ愛をもって他の人を扱うとき、私たちは心配から信頼へと移るのです。

私たちが肩の荷を下ろし、それを神様の手に委ねるとき、聖霊の導きを受け取ることができるのです。